
270分?

駈牙 蓮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

270分？

【Nコード】

N4353Z

【作者名】

駆牙 蓮

【あらすじ】

オペ室看護師の進藤雅樹シンドウマサキは同僚看護師の成海大和ナルウミヤマトへの七年間の片想いがようやく実った。しかし、思う様に関係は変わらず、不安は募っていく。『270分』の続編です。先にそちらを読まれる事をオススメします。

身体は常に正直だけど、心は簡単に嘘をつく。

俺、進藤雅樹は叶わないと諦めていた七年越しの片思いが実り、幸せの絶頂にいる。・・・筈なんだが。

「じゃあ、俺そろそろ帰るわ」

「何、泊まってかないの？」

「あー・・・そうしたいんだけど、明日のオペの勉強しとかなきゃマズインだつて。悪イ」

今日も、ナルは帰って行った。元々ただの男同士の友達だった俺らは、お互いの気持ちを確認した後も仕事以外で会うペースが変わり事はなく、関係だつて何ら変わってはいない。

まあ、七年間続けていた関係なんて急に変化するもんでもなく、唯一違うのはたまに訪れるぎこちない、間。それが照れからなのか、そうある事を望んでいるのか、よく分からない。むしろ、お互い気持を確認しただけで、付き合おうとは一言も言っていない。ナルは俺らの関係をどう捉えているのか。悩みはループしていく。

ただ俺は今、非常に欲求不満だ。男つて、そういうモンだろ。好きなヤツが傍にいるんだから当然だと思う。

「あー・・・さわりてえ」

ナルのいない部屋で一人こぼす。今は原付を持っているナルが自転車しかない俺んちに来ることが多く、泊まるも帰るもナル次第なのだ。

「おはようございまーす」

「おはよう」

疲労も重なってくる週の半ば、水曜日。いつも通りの朝、いつものように手術室の準備をする。

今日一緒に部屋を担当するのは七年目の女性の看護師、長谷さんだ。

「なんか疲れてるねー。隈できてんじゃん」

「あー・・・なんか寝不足なんすよ」

「あ、杏奈ちゃんにフラれたことを引きずってるのー?」

俺の悩みなど露知らず、根っから明るいこの先輩は見当違いの空気が読めない発言をしてくる。

「違いますよ・・・」

「あつ、そういえばナルくんが眼科のユカリ先生に迫られてるって知ってる?」

「へっ?!」

朝から何て事を言い出すんだ、この人は。

「前からそういう話はあつたけど、最近頻繁に家に誘ったりしてるんだつて。ナルくん、モテるよねー。狙ってる女医が結構いるらしいし」

眼科の山下ユカリ。確か三十路近かった筈だが、結構美人で男関係激しいという噂だ。

確かにナルはモテる。それは今に始まった事ではない。しかし、やはり気にはなる。人の気持ちなど移ろいやすいものだ。もしも、俺ん家から帰った後、他の女の所に行つてたら。

「進藤くん? ダイジョーブ、君もきつといい人現れるつて!」

「はあ・・・どーも」

もちろんナルとの関係は周りに知られてはいけない。これでいいだけ。

ナルを独占したい。俺を一番に思つて欲しい。

自分が思う強さと同じくらい、相手にも思つて欲しいと思つのは、やっぱりワガママなんだろうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4353z/>

270分?

2011年12月15日00時50分発行